

令和元年度12月(一社)大阪臨床整形外科医会理事会議事録

令和元年12月7日(土)ハービスPLAZA 5階会議室(第8・9・10)

出席者38名

会 長：増田 博 副会長：長谷川利雄 藤本啓治 小林正之 白木隆士 木下裕介
理 事：上野憲司 右近良治 荻野 晃 貴島浩二 岸本英樹 岸本成人 古瀬洋一
清水広太 神藤佳孝 田上実男 田中富弥 調子和則 中川浩彰 中野晋吾
西澤 徹 邊見俊一 堀口泰輔 前中孝文 宮崎 浩 宮島茂夫 宮田重樹
森本清一 矢倉久義 山口眞一 山本善哉 山本 哲 梁 裕昭 吉村弘治
監 事：栗本一孝 黒田晃司 松矢浩司 特別出席者：早石雅宥

[協議事項]

1、研修会予定

白木副会長

白木副会長より、325回～333回研修会の予定報告があった。未定の担当部分については今後適時決定するが希望あれば白木副会長まで連絡とした。

2、令和2・3年度 OCOA 組織表

長谷川副会長

長谷川副会長より次年度 OCOA 組織体系についての予定が資料の通り諮問された。各種委員会についての担当副会長は委員を決定し、1月中に委員会のメンバーを編成し、報告するよう指示があった。

3、JCOA 柔整シンポジウムに OCOA の柔整審査委員 4 名を派遣し、OCO A より参加費・交通費を支給する件

長谷川副会長

JCOA では1回/年に柔整シンポジウムを開催しているが、今年度は、OCO A からの参加者はいなかった。このことは OCOA の会益を損すると考えられ、次年度は予算状況を鑑みて、人数を限り参加費、交通費の支給を協議した。次年度予算計上額として152,000円が計上することが承認された。

岸本(成)理事より、出務する4名は審査委員から決定し、参加したことがない理事から選出されることが望ましいという意見があった。

4、一般社団法人大阪臨床整形外科医会費用弁償規則

長谷川副会長、木下副会長

木下副会長より費用弁償規則の変更についての提案があった。JCOA 代議委員会に出席する理事 5名→6名、32,000円→33,000円への変更とすることが承認された。

また、5月に専門医機構共通研修会があり、同様の研修会についての項目を整備する必要があるという意見があった。常任理事会で検討し、次回の継続審議となった。

5、各務文献先生報恩法要助成金について

木下副会長

今井先生が各務文献報恩法要の責任者として就任することになった。については記念碑の修繕費、お寺への謝礼等を含め年間 50,000 円の予算を計上することについての審議がなされ、承認された。

6、令和 2 年度予算編成について

木下副会長

令和 2 年度予算編成について協議がなされた。次年度は従来編成を変更し、JCOA に倣い、添付 1-1 資料を作成し、これをもとに予算編成を行った。一般社団法人としての財政を明確にする目的である。OCCOA としての全体予算は 1400 万円程度、JCOA はその約 10 倍、日整会はさらにその 10 倍規模である。現在の事業規模を把握し、活動に充てるべきである。ただし、活動内容について各理事は萎縮する必要はなく、活動していくことは重要であるとの旨 長谷川副会長の意見であった。

次年度の骨関節フォーラムについて、収入 400000 円の計上があるが、次年度は中外製薬が撤退予定、現状の予算案には反映されていない。

7、石井正治先生 OCCOA 特別会員推薦について

木下副会長

木下副会長より石井正治先生のOCCOA特別会員推薦についての提案があった。原案の通り承認された。

8、テニス部・ゴルフ部助成金定額化について

木下副会長

テニス部、ゴルフ部の予算を計上するにあたり、今後定額制とすることが協議され、承認された。岸本理事より今後テニス部についても 1 回 50000 円の予算となった。現状やや高価であるインドアコート屋外にする等減額を検討するという意見があった。

9、日本専門医機構認定共通講習会

梁理事

日本専門医機構認定共通講習会について案内スケジュールについての協議がなされ、承認された。受付は 3 単位で定額、受講証明書についてはそれぞれの単位について発行されることが確認された。

10、整形外科新規開業者講習会

邊見理事

リクルート委員会、逸見理事より整形外科新規開業者講習会の開催検討についての協議があった。これからの開業予定者へ対し、OCCOA として講習を行っていく事業を検討することが協議され、承認された。

長谷川副会長より、熊本県ではすでに同様の事業が行われており、熊本のCOA加入率が高いというコメントがあった。ただし、今後参加者や講習内容、どこまで対象者をひろげるかの検討が必要である。

藤本副会長より、当事業に賛成であり、継承についてもメリットがあるものと考えられるという意見があった。

1 1、「共通講習を含む研修会での受付実務の変更」に関する提案

1 2、「共通講習を含む研修会での受付方法・受講料変更のご案内」に関する提案

神藤理事

共通講習を含む研修会に対する日整会からの通達により、今後、共通講習には企業共催、後援は認められない。このため、受付実務および方法、受講料等を今後変更する必要がある。まだ不透明ではあるが、14分野については、今後OCOAの収益活動となる可能性も期待できる。

長谷川副会長より、これまで14分野の研修会は整形外科で突出しており、専門医機構より全科的な内容で行うべきという依頼があった。今後認定共通講習会を行う予定であるが、今回の講習会は大阪が先駆けで全国的に注目されているというコメントがあった。

1 3、令和2年度OCOA会報第46号広告協賛趣意書

宮崎理事

会報広告協賛趣意書についての協議がなされた。45号については、調子理事のひらたへの交渉により、1冊当たりの単価が900円安くなったため、費用削減ができた。

前号の出費が約1300000円に減っているのに予算が2300000円計上されているのはなぜかという質問があった。今年度のひらたの見積もりに基づくものという回答であった。

1 4、12月28日レジメ委員会および懇親会

中野理事

令和元年12月28日(土) 17:00 リッツカールトン大阪4F ザ・クリスタルルーム
レジメ委員会のあと、懇親会(同4Fにて場所未定)が決定された。

1 5、平成31年度3月理事会の各種委員会報告について

中野理事

令和2年3月7日(土) 理事会にて予定されている。報告担当理事について、齟齬があれば中野理事まで連絡するよう要請された。

1 6、柔整に関するパンフレットを医療機関に設置依頼の件 藤本副会長

協会けんぽが作成準備している柔整に関するパンフレットについて院内掲示配布の依頼が藤本副会長よりあった。今後協会けんぽで予算がつけば、大々的に配布される予定であるということであった。

配り方としては協会けんぽと府医師会で相談させて広げさせたほうが良いのではという意見があった。

増田会長より、データで配布はできないかという意見があったが、難しいということであった。

17、その他

増田会長

療法士会研修会会場として、来年度以降、エーザイの会場を、無条件で借りることができなくなった。「痛み」の話の内容の講演を入れることにより、使用は可能となるとのこと。療法士会の会員数が減少している。現在、会員医療機関に勤務している療法士だけが会員になれるが、病院勤務している療法士も入会できるようにすれば、開業医のリハビリにも関心を持ってもらえ、転職希望する療法士が出てくれば、療法士を募集している医療機関だけでなく、今後雇用予定の診療所にもメリットが有るので会員規約を変更して欲しい、との提案が宮田理事よりあった。今後常任理事会へ提出し、継続審議となった。

増田会長より、産業医コラムの執筆依頼があった。

[報告事項]

1、会員動態（前回の理事会以降）

小林副会長

OCOA 特別会員 9 名 正会員 508 名 計 517 名 (内 JCOA 名誉会員 8 名)

新入会 3 名

R1.9.19 入会 塩見俊行 しおみ整形外科痛み関節クリニック 阪大 H14

R1.10.17 入会 中谷晃之 医療法人沖繩徳洲会 吹田徳洲会病院 関西医大 H3

R1.10.8 入会 岩崎圭至 松原徳洲会病院 金沢大 H2

退会 4 名：近藤 香織、小瀬 弘一、中村 義弥、玉田 善雄

名誉会員逝去：阿部 宗昭

2、第 32 回 JCOA 学術集会報告 7/14・神戸

長谷川副会長

・第 32 回日本臨床整形外科学会学術集会の収支報告

総収益 25,286,588 円 (小計 1 + 2)

・決算処理する金額 (返金) 90,089,530 円 (小計 1)

JCOA からの助成金 8,000,000 円

2 府 4 県 1,089,530 円

・決算計上する金額

予備費 (次回の学会・研修会の基金) 6,137,109 円を含め

16,197,058 円 (小計 2)

3、第 2 回日本臨床整形外科学会学術研修委員会 9/30・T.V.

堀口理事

・JCOA 学術集会 (関西) の論文査読状況について

(1) 国際化プロジェクト論文

第 31 回日本臨床整形外科学会 (鹿児島) の論文査読結果

投稿総数 5 編、受理論文 5 編 (自由投稿論文 1 編を含む)

(2) 学術集会発表演題論文

第 32 回日本臨床整形外科学会 (関西) の論文査読結果

学術集会発表演題論文については、受付数 42 論文中、受理数 14、査読中 7、再投稿待ち等 2、COI 提出待ち 19 である（令和元年 9 月 13 日現在）。

・学術研究助成 研究報告・会計報告

(1) 平成 28 年度学術研究助成 (H28.04.01~R2.03.31)

「愛媛県骨粗鬆症の再骨折予防」相原忠彦 先生（愛媛県）

(2) 平成 28 年度学術研究助成 (H28.06.01~H29.06.01)

「当院で考案した等尺性腱板訓練器の臨床応用について」原 正文 先生（福岡県）

(3) 平成 29 年度学術研究助成 (H29.06.01~H31.06.01)

「人工関節置換術においてバランスの回旋位置の違いが内外側軟部組織バランスに与える影響を調査し、変形性膝関節症症例に対する適切な脛骨インプラントの回旋位置を明らかにする」吉岡 徹 先生（広島県）

・学術集会発表演題論文の査読規程の改定について

本論文は合同プログラム委員会にて査読されたものであり、原則として査読者は内容については不問とする。また、著者に確認を要するような訂正も入れないこととし、「可」、「不可」にて判定されていたが、二種類の判定基準では対応できない論文が多いため、「修正後可」を新たに定めた。

4、第 74 回 JCOA 近畿ブロック会議 11/16・大阪 堀口理事

・次期理事：大阪・貴島浩二 和歌山・加藤健 奈良・村井聰 ブロック長 貴島浩二

・2023 年研修会（50 回）京都に決定

・2025 年学術集会について：来年の近畿ブロック会で決める予定。

・令和元年度第 2 回スポーツ・学校保健委員会報告（滋賀・麻生伸一）

7 月に秋田県での脊柱側彎症の見落としについて損害賠償を求める訴訟報告

・今後の JCOA 近畿ブロック会交流への提議（兵庫・飯尾純）

今後の近畿ブロック会メンバー間の交流のため親睦ゴルフ会を各県持ち回り。

・あはき療養同意書の扱いに対して医師会の会員が困っていることに対する対応：

厚生労働省より平成 30 年 10 月 1 日に同意書の扱いについての文書を参考

5、第 4 回一般社団法人日本臨床整形外科学会理事会及び整形外科医政協議会執行委員会

10/20・東京 貴島理事

・令和元年 10 月 9 日現在総会員数 5,906 名（大阪 517 名）

・令和 5 年度開催の第 36 回学術集会及び第 50 回研修会の開催地区

【学術集会】	第 33 回	令和 2 年	愛知（中部）
	第 34 回	令和 3 年	新潟（東北）
	第 35 回	令和 4 年	徳島（中四国）
	第 36 回	令和 5 年	（関東）
【研修会】	第 47 回	令和 2 年	宮崎（九州）
	第 48 回	令和 3 年	長野（中部）
	第 49 回	令和 4 年	北海道（北海道）
	第 50 回	令和 5 年	京都（近畿）

・自賠・労災委員会より「症状固定と後遺障害診断書についての患者説明用文書」を作成し、JCOA 会員に送付することが承認された。

・JCOA で作成の「運動器検診とロコモ」に関する資料が、各都道府県で実際に配布されているかどうかを各都道府県の COA 代表者にアンケートを行う事が承認された。

・義肢・装具支給に関する緊急実態調査結果報告：厚生労働省の担当技官と面談を行い、治療用装具に関する実態を報告。厚生労働省と様々な意見交換を行い、可能な限りより良い結果となるように、関係各所に要望活動を鋭意続けていることが報告された。

・小児運動器疾患指導管理料の見直しを要望

① 対象を 6 歳未満から 15 歳未満とする

② 診療報酬点数の見直し：「他の医師の紹介又は健康検査を担当した医師の助言を受けて受診した患者」を削除

6、第 1 回 学校保健運動器検診 WG 11/10・東京 貴島理事

受診勧告児童・生徒等の実態調査の報告

- 1) 平成 28、29、30 年の 3 ヶ年の合算の 20,024 サンプル (
- 2) サンプルの数は 1. 中学校 (n=7269、36.3%) が最多
- 3) 受診勧告理由は 1. 側弯の疑い (69.9%)、2. しゃがみ込みができない (14.3%)
- 4) 診断結果では 1. 側弯症 (40.8%)、2. 異常なし (40.4%) で、全体の約 8 割
- 5) 事後措置は 1. 指導観察 (47.9%)、2. 異常なし (39.7%)。手術は 0.1%と少ないが、他専門医紹介 (2.8%) に含まれている可能性あり。

7、令和元年度第 1 回社会保険等検討委員会 7/21・東京 神藤理事

・社会保険等検討委員会への要望項目が、26 項目中 13 項目に於いて一次審査を通過

8、J O A 保険審査委員会議

神藤理事

・全国整形外科保険審査委員会議の報告

・超音波検査に対する査定に関するアンケート調査の報告。日本全体でみると超音波の査定率は西高東低の傾向 (大阪が突出して高いわけではなかった)。今後大阪でも認められるよう働きかけたい。

9、最近の医療費の動向 (MEDIAS)

及び医療機関医療費の最近の動向 (医療機関メディアス) 神藤理事

平成 13 年度からの過去 17 年間の診療科別の施設数、医療費等の推移の報告。整形外科の総収入は増加傾向であるが、一施設当たりの総収入はむしろ減少しており、診療機関が増加したことによる総収入増加と考えられた。

10、大阪城トライアスロンについての報告 9/22・大阪 岸本 (英) 理事

【大会名称】 NTT ASTC トライアスロンアジアカップ・東アジアトライアスロン選手権/大阪城トライアスロン 2019

【日時】 2019 年 9 月 22 日 (日)

【会場】 大阪城公園および周辺特設コース/スイム会場 (大阪城東外濠特設コース)

【参加者】 スタンダード 510 名、スプリント 435 名、リレー 50 チーム、エリート 140 名

救護所受診者 40名、救急搬送 2名 (鎖骨骨折、肩鎖関節脱臼)

問題点

- ・スピードが出る競技なのにコースが狭く、事故を起こしやすい
- ・交通規制が不十分で、自転車がコース上に侵入し事故になりかけたことが度々あった。

1 1、第2回 IT 戦略委員会 10/21・T.V.

白木副会長

- ・メーリングリストについては、さくらサーバーと UMIN(大学病院医療情報ネットワークセンター) に順次移行し、令和2年1月には、旧 JCOA メールサーバーは停止したい。
- ・委員会でのテレビ会議に関して、Meeting Plaza が 2022年3月31日でサービス終了となるとのことで、後継のテレビ会議システムについて検討することとした。

1 2、第22回テニス部例会 10/22・大阪

岸本理事

場所：江坂テニスガーデン (インドア2面) 参加人数：11名

- ・施設料が108,955円と高いため、コートをインドアからアウトドアに変更予定
- ・今後も年2回開催予定

1 3、令和元年度第3回 JCOA 災害医療チーム研修会次第 (案)

宮崎理事

共催：日本臨床整形外科学会、大阪臨床整形外科医会

日時：令和2年2月24日 (月祝) 11:00~16:00

場所：大阪市立大学医学部附属病院あべのメディックス8階メディカルフォーラム

- ・大阪急性期・総合医療センター高度救命救急センター 藤見聡先生：「災害時の保健医療活動」
- ・OCCO災害対策委員会 神藤佳孝先生：「自助・共助で実現する地域防災・減災目指して」～大阪臨床整形外科医会防災対策委員会の活動と今後の目標～
- ・実技研修「心肺蘇生 (BLS) 講習会」
- ・体験型防災学習施設見学 (1時間コース) 場所：大阪市立阿倍野防災センター

1 4、日本臨床整形外科学会雑誌投稿論文の状況 (災害対策委員会)

宮崎理事

以下の5演題が投稿・受理された。

①自助・共助で実現する地域防災・減災目指して

-大阪臨床整形外科医会 災害対策委員会の活動と今後の目標-

○神藤佳孝、宮崎浩、邊見俊一、小林正之、増田博、山本哲、長谷川利雄

②大阪北部地震による被害調査結果

○宮崎浩、邊見俊一、神藤佳孝、小林正之、山本哲、増田博

③台風21号による被害調査結果

○宮崎浩、邊見俊一、神藤佳孝、小林正之、山本哲、増田博

④災害区民公開講座に参加した一般市民に対して行った防災・減災に対する意識調査と今後の対策

○神藤佳孝、宮崎浩、邊見俊一、小林正之、増田博、山本哲、伊藤喜一郎、岡成樹

⑤南海トラフ巨大地震に伴って発生する津波被害に関する意識調査と今後の対策

○邊見俊一、宮崎浩、神藤佳孝、小林正之、増田博、山本哲

15、令和元年度第3回医療システム委員会（Web会議）10/30・web 宮崎理事

1. JCOA シンポジウムについて
2. 第33回JCOA 学術集会（愛知どまんなか学会）の企画について
3. 医業類似行為 Q&A 配布 ML 上の反響
 - ・否定的な意見もあったが、結果的には多くの会員に見てもらえる機会になった
4. 保健所による違法広告に対するチラシ
 - ・大阪府富田林保健所の違法広告啓発チラシを保健所のホームページからダウンロードできよう交渉し、了解を得た。
 - ・ダウンロードしたものは自由に使用してよいとの許可を得た。
 - ・岸本成人先生から、梅村議員の発言（柔道整復師の介護領域への進出をすすめる）が紹介された。

16、令和元年度日本臨床整形外科学会シンポジウム 宮崎理事

日時：令和元年12月1日（日） 場所：品川プリンスホテル

- 1、患者の誤解を避けるために打開したい“あはきの現状”
- 2、あはき柔整、その他医業類似行為に対する日本医師会の立場
- 3、シンポジウム（シンポジスト4名）

非医業類似行為が無資格であることが周知されていないなど（詳細は議事会資料参照）。

17、令和元年度第4回医療システム委員会 宮崎理事

日時：令和元年12月1日（日） 場所：品川プリンスホテル 出席者：14名

「整骨院」「治療院」という名称の妥当性、「診療時間」「休診」など、医療機関と混同しやすい表示、無資格者の施術をどうやって規制するのか、がシンポジウム座長スライドで問題提起された。

無資格者の施術規制に関して、今回の厚労省案には、新たな造語として「非医業類似行為」が現れた。法学者から「非医業類似行為」という概念は今まで出てきておらず、用語に関する疑問も出た。（詳細は議事会資料参照）

18、広報委員会 調子理事

日時：令和元年11月9日（土） 場所：大阪

出席者 邊見俊一 宮崎 浩 宮田重樹 山本善哉 調子和則

大阪臨床整形外科医会会報46号について

なにわの先達 依頼中

第46回JCOA 研修会（広島大会）報告

3 ゴルフ 牧先生に依頼予定（宮崎先生より）

原稿締め切り 令和2年5月10日、発刊 令和2年7月予定

研修会講演内容要旨の原稿執筆依頼の段取りの再確認
新理事紹介原稿、新入会会員原稿依頼中であることが報告された。
(詳細は議事会資料参照)

19、第13回運動器リハ・セラピスト資格継続研修会およびロコモコーディネーター 資格継続研修会報告 上野理事

日時:令和元年11月10日(日) 場所:エーザイ大阪コミュニティオフィス
出務者:増田博 藤本啓治 木下裕介 堀口泰輔 宮島茂夫 荻野晃 清水広太 梁裕昭
山口眞一 岸本英樹 日下昌浩 上野憲司 12名
講演者:片岡英一郎 伊東靖宜先生 古瀬洋一先生 梁裕昭先生
詳細は理事会資料通り

受講申込数 セラピスト122名(OCOA会員104名 非会員18名) 当日出席119名
ロコモ23名 当日出席23名(重複受講4名)

収支 +308,106円(収入 6,160,000円、支出 307,894円)

業務委託せず、OCOA単独で開催した。セラピスト番号不明受講者がおられ、今後も注意を要する。

来年は、11月8日開催予定(新大阪:中外製薬)

講演担当大学は、関西医大、阪大、近大、市大で、3月までに各副会長が講師選定をする。

20、第2回運動器リハビリテーション・介護保険検討委員会 吉村理事

日時:令和元年11月23日(土) 場所:日本臨床整形外科学会事務局2階会議室 出席者:14名

理事長諮問会議についての検討、第32回JCOA学術集会・まほろば関西シンポジウムの報告、第33回JCOA学術集会シンポジウム予定、要介護要支援被保険者の維持期リハ打ち切りの現状の各委員からの報告、など。(詳細は理事会資料参照)

21、第9回大阪マラソン 荻野理事

完走率95.8%、AED使用1件で死亡者無し。会計報告(予算、決算)

第10回大阪マラソン令和2年11月29日開催予定。(詳細は理事会資料参照)

22、OCOA新規入会者に関する報告 邊見理事

詳細は理事会資料通り

新入会者数 2018年40名、2019年33名。

23、第4回編集委員会 山口(眞)理事

日時:令和元年10月7日(月) 場所:テレビ会議

ニュース第 167 号の反省（骨と関節の日→運動器の健康・骨と関節の日の正式名称へ）
ニュース第 168 号の進行状況、会報 24 号（第 44 回研修会茨城）の反省、会報 25 号（第 32 回学術集会）発行予定、など詳細は理事会資料参照。

25、第 5 回編集委員会

山口（眞）理事

日時：令和元年 12 月 4 日（水） 場所：テレビ会議

印刷業者の選定、ニュース第 168 号の反省、ニュース第 169 号の進行状況、会報 25 号について、「JCOA ニュース掲載原稿のお願い」、など詳細は理事会資料参照。

26、第 5 回雑誌編集 WG

山口（眞）理事

日時：令和元年 12 月 4 日（水） 場所：テレビ会議

国際プロジェクト論文から和文一般論文への変更について、投稿者の個人情報について、116 号の進捗状況、など詳細は理事会資料参照。

27、運動器の健康 日本賞の件

藤本副会長

「運動器の健康増進活動」の募集。<http://bjd-jp.org/>から応募してください。

28、研修会実施報告

白木副会長

特別研修会（9 月 21 日リーガロイヤル）共催：アステラス製薬 262 名（会員 166 名）

322 回研修会（9 月 28 日 ANA クラウンプラザ）共催：第一三共 195 名（会員 136 名）

323 回研修会（10 月 19 日 ANA クラウンプラザ）共催：帝人 243 名（会員 150 名）

324 回研修会（11 月 9 日ホテル阪急インターナショナル）共催：久光 173 名（会員 122 名）

骨・関節フォーラム（11 月 30 日グランフロント大阪）共催：中外・メジカルビュー

186 名（来年度開催は無いかも？）